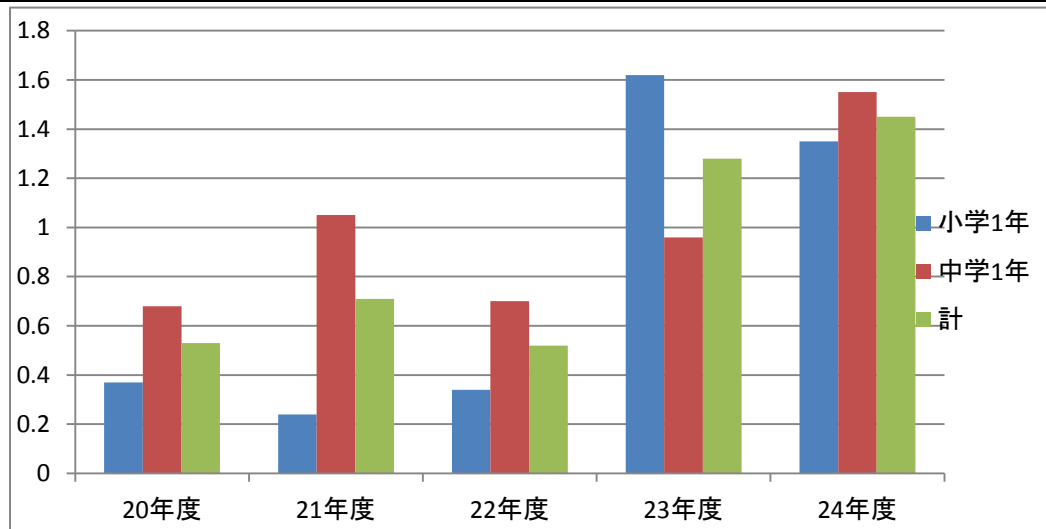


取手市立 小中学校 心臓検診結果集計(2013/1/1)

(取手市データ:教育委員会より、県・国:政府統計HPより) 一般公開用

	平成20年度			平成21年度			平成22年度			平成23年度			平成24年度(9月)			
	小学校	中学校	合計	小学校	中学校	合計	小学校	中学校	合計	小学校	中学校	合計	小学校	中学校	合計	
① 一次検査	1次検査受験者数	809	880	1,689	833	867	1,700	873	857	1,730	803	836	1,639	817	838	1,655
	未受験者 治療中(ア)	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
	欠席	1	4	5	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	結果 要精密検査(イ)	5	14	19	2	10	12	8	17	25	11	17	28	18	55	73
	受診継続(ウ)	4	0	4	0	2	2	3	2	5	8	3	11	9	5	14
	要観察(エ)	15	50	65	16	29	45	22	16	38	23	40	63	23	36	59
② 精密検査結果	要精密検査(ア+イ+ウ)	9	15	24	2	12	14	11	20	31	19	20	39	27	60	87
	要精密検査/1次検査受験者	1.11%	1.70%	1.42%	0.24%	1.38%	0.82%	1.26%	2.33%	1.79%	2.37%	2.39%	2.38%	3.30%	7.16%	5.26%
	受験者数	6	11	17	2	12	14	9	16	25	16	16	32	22	40	62
	未受験者(要精密検査-受験者)	3	3	6	0	0	0	2	4	6	3	4	7	5	20	25
	要管理(A~E)	3	6	9	2	10	12	3	6	9	13	8	21	11	13	24
	管理不要	2	1	3	0	1	1	3	7	10	2	7	9	6	18	24
	異常なし	1	5	6	0	1	1	3	3	6	1	1	2	5	9	14
	要管理者/1次検査受験者	0.37%	0.68%	0.53%	0.24%	1.15%	0.71%	0.34%	0.70%	0.52%	1.62%	0.96%	1.28%	1.35%	1.55%	1.45%
③ 平均	県 心電図異常	3.4%	4.1%	—	2.3%	3.9%	—	2.7%	3.2%	—	2.5%	3.8%	—			
	県 心臓の疾病・異常	0.7%	1.0%	—	0.8%	0.6%	—	0.8%	0.8%	—	0.9%	1.0%	—			
	国 心電図異常	2.67%	3.45%	—	2.51%	3.28%	—	2.48%	3.36%	—	2.51%	3.36%	—			
	国 心臓の疾病・異常	0.78%	0.94%	—	0.87%	0.98%	—	0.76%	0.81%	—	0.83%	0.78%	—			



学校検診での心電図検査は、小学校1年、中学校1年で行う。
 上記小中学生は、取手市立小中学校の児童生徒。私立校は含まない。
 1次健診方法、健診場所は同じ。精密検査は各自が個別に受ける。

① 一次検査の受験者とその結果。
 ② 一次検査の結果、要精密検査となった子の結果。
 要管理者は、診断により心臓の疾病・異常の認められる子。
 A(重度)~E(比較的軽度)に区分されるが、その合計。

③ 茨城県の、一次検査異常者の割合と、要管理者の割合(平均)
 全国の小一・中一の平均。ただし、23年度は東北三県は、被災のため、
 学校検診を行っていないので、それ以外の県の平均となる。
 県・国とも、24年度の結果の公表はまだ。
 * 24年度は年度途中のため、精密検査未受験者も多い。(結果確定せず)

小中学校別・地区別・年度推移 心臓検診結果集計

	12校	H20	H21	H22	H23	H24
		一次検査	1次検査受験者数	550	592	584
	未受験者 治療中(ア)	0	0	0	0	0
	欠席	1	0	0	0	0
	結果 要精密検査(イ)	4	1	7	7	11
	受診継続(ウ)	2	0	1	4	4
	要観察 (エ)	13	5	8	20	11
精密検査結果	要精密検査(ア+イ+ウ)	6	1	8	11	15
	要精密検査/1次検査受験者	1.09%	0.17%	1.37%	2.04%	2.75%
	受験者数	5	1	7	9	13
	未受験者(要精密検査-受験者)	1	0	1	2	2
	要管理(A~E)	3	1	2	7	4
	管理不要	2	0	2	1	4
	要管理者/1次検査受験者	0.55%	0.17%	0.34%	1.30%	0.73%

	6校	H20	H21	H22	H23	H24
		一次検査	1次検査受験者数	259	241	289
	未受験者 治療中(ア)	0	0	0	0	0
	欠席	0	0	0	0	0
	結果 要精密検査(イ)	1	1	1	4	7
	受診継続(ウ)	2	0	2	4	5
	要観察 (エ)	2	11	14	3	12
精密検査結果	要精密検査(ア+イ+ウ)	3	1	3	8	12
	要精密検査/1次検査受験者	1.16%	0.41%	1.04%	3.03%	4.41%
	受験者数	1	1	2	7	9
	未受験者(要精密検査-受験者)	2	0	1	1	3
	要管理(A~E)	0	1	1	6	7
	管理不要	0	0	1	1	2
	要管理者/1次検査受験者	0.00%	0.41%	0.35%	2.27%	2.57%

	6校→4校	H20	H21	H22	H23	H24
		一次検査	1次検査受験者数	601	614	604
	未受験者 治療中(ア)	0	0	1	0	0
	欠席	4	1	0	0	0
	結果 要精密検査(イ)	9	8	16	14	39
	受診継続(ウ)	0	2	1	1	3
	要観察 (エ)	46	24	15	23	29
精密検査結果	要精密検査(ア+イ+ウ)	9	10	18	15	42
	要精密検査/1次検査受験者	1.50%	1.63%	2.98%	2.51%	7.19%
	受験者数	7	10	14	11	28
	未受験者(要精密検査-受験者)	2	0	4	4	14
	要管理(A~E)	4	8	4	5	11
	管理不要	1	1	7	5	12
	要管理者/1次検査受験者	0.67%	1.30%	0.66%	0.84%	1.88%

	2校	H20	H21	H22	H23	H24
		一次検査	1次検査受験者数	279	253	253
	未受験者 治療中(ア)	1	0	0	0	0
	欠席	0	0	0	0	0
	結果 要精密検査(イ)	5	2	1	3	16
	受診継続(ウ)	0	0	1	2	2
	要観察 (エ)	4	5	1	17	7
精密検査結果	要精密検査(ア+イ+ウ)	5	2	2	5	18
	要精密検査/1次検査受験者	1.79%	0.79%	0.79%	2.10%	7.09%
	受験者数	4	2	2	5	12
	未受験者(要精密検査-受験者)	1	0	0	0	6
	要管理(A~E)	2	2	2	3	2
	管理不要	0	0	0	2	6
	要管理者/1次検査受験者	0.72%	0.79%	0.79%	1.26%	0.79%

取手地区小学校

藤代地区小学校

取手地区中学校

藤代地区中学校

	小学1年	中学1年	計
20年度	0.37	0.68	0.53
21年度	0.24	1.05	0.71
22年度	0.34	0.7	0.52
23年度	1.62	0.96	1.28
24年度	1.35	1.55	1.45

H24年度学校健診・心電図検査の後、医療機関で再検査し、その結果「診断名」のついた要管理者とその診断名

小・中学1年

	病名	先天or後天性			治療
1	増帽弁逸脱症	遺伝、後天性	左心房から左心室へ血液を流す増帽弁の逆流を止める乳頭筋や腱索が切れたりして弁が外に。不整脈、心不全、心筋梗塞		
2	先天性心室中隔決損症	先天性	左心室と右心室の間の中隔に穴がある	肺に流れる血液の量が増加し苦しくなる	穴が大きい場合は手術
3	QT延長症候群の疑い	遺伝性・先天性・後天性	Q波からT波までが長い。不整脈。	疑いがある。	
4	肺動脈狭窄症		肺動脈から右心室へ流れが狭くなっている	軽症から重症まで様々	カテーテルなど
5	川崎病の既往	後天性、原因不明	全身の血管が腫れる病気、幼児期に罹りやすい。		
6	川崎病性の冠動脈瘤		冠動脈が腫れて瘤ができしまっている状態	心筋梗塞、狭心症	薬剤
7	完全右脚ブロック	先天or後天性	右心室を通る電気信号を送る線がブロック	まれに心房中隔欠損症が見つかる	
8	QT延長	遺伝性・先天性・後天性	心脈の乱れ。「QT」波形が長くなる。		
9	異常Q波		心臓位置がずれている場合や単に電極から遠くても出る。問題は心筋梗塞。心筋壊死		
10	QT延長の疑い	先天or後天性	心脈の乱れがある疑い	QT波が延長している疑い	
11	QT延長の疑い	先天or後天性	心脈の乱れがある疑い	QT波が延長している疑い	
12	川崎病既往	川崎病	全身の血管が腫れる病気、幼児期に罹りやすい。		
13	QT延長症候群	遺伝性・先天性・後天性・薬剤性	Q波からT波までが長い。不整脈。異常T波。頻脈。心筋での電気の流れの異常。	突然死。運動制限	原因は治らない。ペースメーカー、薬剤
14	QT延長	先天or後天性	心脈の乱れ。「QT」波形の延長		
15	心房中隔欠損症		右心房と左心房の間の中隔に穴がある。	肺に流れる血液量が増加してしまう	手術
16	心房性期外収縮		電気の流れの異常、不整脈、脈が飛ぶ。		
17	心室中隔欠損術後		心室中隔の穴をふさいだ手術をした。		
18	WPW症候群	先天性、後天性	1分間に200以上などの頻脈。伝達経路の異常。	動悸。発作が無い場合も多い。	薬剤、カテーテル治療等
19	QT延長	先天or後天性	心脈の乱れ。「QT」というような波形		
20	生理的心雑音の疑い	後天性	心臓の異常はなく、貧血などで血流が早くなっても起こる		
21	三尖弁閉鎖不全症	先天性、後天性	右心房から右心室へ流す三尖弁の閉鎖不全により血液が逆流。リウマチ性と非リウマチ性も。		
22	II音分裂		II音は心室が拡張するときに動脈弁が閉じる音。		問題ない場合と中隔欠損など
23	QTC延長症候群の疑い	先天or後天性	Q波からT波までが長い。不整脈。疑い	Cは心拍数	
24	左室肥大の疑い		左心室の筋肉が厚くなっている状態の疑い	高血圧、スポーツ性、弁狭窄など	
25	左軸偏位	先天性、後天性	心電図上の所見で、電気の伝わり方の偏り。問題のないものから左心室肥大や高血圧など		

QT延長(疑いも含む)の年度推移(要管理者の個人別病名総数分のQT延長 QT/総疾患者)
H20年:0/10、H21年:1/13、H22年:1/10、H23年:2/22、H24年:8/25

診断名推移、QT延長の増加について (QT延長が増加していたための調査学習経過)

取手市立小中 学校健診・心電図	QT延長(疑いも含む)の年度推移(要管理者の個人別病名総数分のQT延長 QT/総疾患者) H20年:0/10、H21年:1/13、H22年:1/10、H23年:2/22、H24年:8/25
--------------------	---

心臓	心臓の疾病・異常は根本的に治せない。心筋は他の細胞のように分裂しない。
心臓病	<ul style="list-style-type: none"> * 動脈硬化が原因となる虚血性心疾患。生活習慣病。狭心症や心筋梗塞など。 * 脈の乱れを起こす病気。不整脈、心房細動、心室細動、房室ブロックなど。 * 生まれつき心臓に問題がある先天性心臓病。中隔欠損、肺動脈狭窄など。 * 心筋の病気、心臓弁膜の病気、心膜の病気など。 * その他の病気。心肥大、精神的な原因から起こる心臓神経症など。 (厚生省HP)
QT延長	<p>心電図のQT間隔の延長(Qの始まりからT波の終わり心室筋の活動電位持続時間に相当。 QT延長状態では、心室筋各部で興奮持続時間のばらつきが多くなり、頻脈性不整脈。心室性不整脈が出現しやすくなり、危険。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 先天性 * 後天性 <ul style="list-style-type: none"> ・電解質異常(低K血症、低Ca血症、低Mg血症) ・薬剤(副作用) 抗不整脈薬、向精神薬、抗生物質、抗菌剤、抗腫瘍薬、抗アレルギー薬、利尿剤、漢方製剤、ガスターも。 併用禁忌 ・中枢神経障がい(頭部外傷、急性脳梗塞など) ・高度の除脈性不整脈、完全房室ブロックなど。その他、急性心筋梗塞、心筋炎、甲状腺機能低下など)
被ばく、セシウムとの関連検索	<ul style="list-style-type: none"> ・チェルノブイリ事故による影響調査、多数(人間の疫学調査、動物実験、解剖・検視など) ・放射能影響研究所(原爆影響の疫学調査。死亡調査。) ・動物実験。不整脈を引き起こすセシウム(非放射性セシウムは量の桁が違うが) ・セシウムを取り込むと遅延性カリウム電流の延長が起こり、QT延長を引き起こす。 →引用 ・心臓への血流を阻害し、心臓のエネルギー不足を引き起こす。 →引用 ・心筋細胞に溜まったセシウムが細胞に伝わる信号を阻害する(ブロック)。セシウム被曝が持続する。 →引用 ・セシウムは血管内を移動し、まず血管を破壊する。(潰瘍、アテローム) 血管系障がいの多発。 →引用
2010と2011比較	<ul style="list-style-type: none"> * 2010年度と2011年度を比較して心疾患死亡率が10ポイント以上上がった県は、福島(197.6→226.0=28.4、福島は8位から1位へ)政府統計 茨城(150.1→165.9=15.8、35位から32位)、岩手(202.6→219.3=16.7)、宮城(141.3→160.0=18.7)、新潟、宮崎、長野等も。全国(149.7→154.4)

小中学校の環境放射線量 (取手市役所発表)

小学校	2011.5.13	2011.6.3			2011.7/13~15			2011.8/23~24			2011.9/20~9/22			2012.3/6~3/8			2012.9/3~9/5			
	1m	1cm	50cm	1m	1cm	50cm	1m	1cm	50cm	1m	1cm	50cm	1m	1cm	50cm	1m	1cm	50cm	1m	
取手 1 取手小	0.231	0.226	0.207	0.189	0.400	0.376	0.340	0.396	0.328	0.290	0.258	0.246	0.212	0.226	0.206	0.198	0.124	0.126	0.116	
2 白山小	0.379	0.313	0.281	0.281	0.372	0.366	0.368	0.374	0.350	0.324	0.212	0.214	0.204	0.154	0.162	0.158	0.148	0.142	0.138	
3 小文間小	0.219	0.215	0.213	0.197	0.272	0.278	0.26	0.224	0.218	0.210	0.224	0.210	0.212	0.234	0.224	0.218	0.104	0.096	0.086	
4 寺原小	0.239	0.285	0.285	0.279	0.548	0.478	0.438	0.440	0.410	0.374	0.204	0.216	0.214	0.202	0.208	0.210	0.186	0.182	0.172	
5 永山小	0.299	0.413	0.344	0.315	0.544	0.474	0.418	0.464	0.430	0.382	0.362	0.306	0.296	0.140	0.141	0.150				
6 井野小	0.27	0.281	0.289	0.268	0.370	0.340	0.304	0.290	0.272	0.258	0.252	0.242	0.234	0.272	0.254	0.232	0.192	0.186	0.184	
7 白山西小	0.449	0.458	0.381	0.356	0.662	0.562	0.574	0.266	0.296	0.314	0.390	0.366	0.340	0.238	0.242	0.244	0.140	0.134	0.138	
8 戸頭西小	0.373	0.347	0.287	0.301	0.424	0.404	0.364	0.354	0.356	0.332	0.316	0.322	0.296	0.258	0.248	0.236	0.087	0.087	0.090	
9 吉田小	0.247	0.277	0.243	0.245	0.328	0.324	0.304	0.312	0.288	0.276	0.244	0.248	0.240	0.212	0.210	0.212	0.166	0.164	0.164	
10 戸頭東	0.365	0.188	0.267	0.257	0.316	0.330	0.318	0.366	0.368	0.366	0.316	0.338	0.326	0.168	0.174	0.188	0.138	0.145	0.155	
11 稲小	0.372	0.421	0.273	0.238	0.562	0.524	0.47	0.300	0.292	0.276	0.192	0.204	0.194	0.174	0.180	0.180	0.148	0.146	0.154	
12 高井小	0.417	0.45	0.397	0.373	0.466	0.446	0.41	0.208	0.204	0.210	0.194	0.226	0.212	0.170	0.166	0.164				
藤代 1 山王小	0.211	0.166	0.205	0.194	0.336	0.326	0.302	0.316	0.292	0.262	0.194	0.196	0.196	0.226	0.216	0.216	0.156	0.158	0.158	
2 六郷小	0.243	0.253	0.230	0.189	0.322	0.316	0.298	0.288	0.284	0.254	0.192	0.200	0.202	0.184	0.192	0.200	0.166	0.166	0.166	
3 藤代小	0.288	0.356	0.306	0.267	0.264	0.262	0.256	0.278	0.250	0.246	0.256	0.246	0.236	0.236	0.224	0.218	0.160	0.162	0.160	
4 宮和田小	0.143	0.199	0.14	0.147	0.244	0.228	0.214	0.216	0.218	0.210	0.162	0.168	0.164	0.170	0.176	0.176	0.128	0.126	0.130	
5 久我小	0.272	0.313	0.267	0.280	0.360	0.348	0.328	0.324	0.308	0.292	0.300	0.292	0.292	0.294	0.286	0.278	0.206	0.206	0.210	
6 桜が丘	0.227	0.235	0.224	0.174	0.260	0.248	0.244	0.210	0.198	0.198	0.222	0.204	0.190	0.166	0.164	0.172	0.134	0.136	0.142	
中学校		1m	1cm	50cm	1m	1cm	50cm	1m	1cm	50cm	1m	1cm	50cm	1m	1cm	50cm	1m	1cm	50cm	1m
取手 1 取手1中	0.304	0.212	0.204	0.217	0.334	0.324	0.302	0.264	0.260	0.256	0.248	0.236	0.232	0.214	0.220	0.216	0.150	0.148	0.144	
2 取手2中	0.386	0.447	0.419	0.414	0.458	0.464	0.436	0.534	0.496	0.458	0.456	0.432	0.392	0.386	0.376	0.358	0.130	0.132	0.132	
3 永山中	0.254	0.184	0.207	0.219	0.476	0.464	0.432	0.400	0.398	0.396	0.25	0.254	0.246	0.300	0.290	0.280	0.120	0.118	0.114	
4 戸頭中	0.154	0.255	0.241	0.227	0.328	0.326	0.310	0.286	0.312	0.312	0.328	0.324	0.310	0.288	0.284	0.292	0.116	0.116	0.116	
5 取手東中	0.215	0.258	0.218	0.208	0.292	0.292	0.268	0.148	0.162	0.168	0.214	0.198	0.186	0.164	0.164	0.166	統合			
藤代 1 藤代中	0.19	0.225	0.222	0.213	0.270	0.274	0.260	0.206	0.214	0.216	0.246	0.240	0.236	0.216	0.210	0.216	0.180	0.178	0.176	
2 藤代南中	0.18	0.208	0.193	0.194	0.236	0.228	0.222	0.200	0.206	0.198	0.208	0.208	0.200	0.210	0.204	0.192	0.146	0.132	0.134	

* 市役所 6月まで、簡易測定器、富士電 はかるくん。7/13から、放射線測定器、日立アロメディカル社TCS-161

* 市役所 6月まで、校庭の中央1カ所のみ。7月から、校庭の中央と四隅の5カ所の平均値。

* 市役所の測定結果は、市民測定と開きがある。

市民測定の一部では、2012年4月の時点で、取手2中の正門付近で、1cmの高さで4μ Sv/hも記録。

2012年秋の段階でも、市役所内(可搬型モニタリングポストの値は0.14)でも、0.3~1.8μ Sv/hを記録。→モニタリングポストの周辺のみ低い。

市民測定では、通学路や公園でも2012年春から秋にかけても、0.5以上の部分が多くある。

飲料水	戸頭配水場	2011.3/24		2011.3/25		2011.3/26		2011.3/27		2011.3/28		2011.3/29		2011.3/30		2011.3/31		2011.4/1	
		ヨウ素	セシウム	ヨウ素	セシウム	ヨウ素	セシウム	ヨウ素	セシウム	ヨウ素	セシウム	ヨウ素	セシウム	ヨウ素	セシウム	ヨウ素	セシウム	ヨウ素	セシウム
	戸頭配水場	106.5	6.49			71.0	5.31	35.8	—	20.1	2.98	14.4	—	10.2	2.32	7.3	—	6.6	—
	藤代配水場			84.1	4.41	68	10	43	未満	7.4	—	11.6	2.21	9.7	2.49	7.2	0.89	6.9	2.18